

活動実績について

評価の対象となる活動実績は、以下の2つの条件を満たすものに限る。

- ① 高等学校在学中の実績である
- ② 出願時に結果が出ている(証明するものが提出できる)ものである

〈格付・採点について〉

活動実績は、その分野・内容によって、**ア** スポーツ・体育系部門、**イ** 文化・芸能系部門、**ウ** 資格・検定部門、**エ** 社会的活動等の部門の4部門に分類し、部門ごとに「対象となる種目」「対象となる競技会」「成績の評価基準」を定め(P.25~26参照)、各種目の成績をA~Cの3段階に格付する(要件を満たさない場合は対象外)。

活動実績は、種目が異なれば最大3つまで申請可能であり、評価対象となる種目が複数ある場合は、本学の「格付組み合わせ基準」により採点する。

〈注意事項〉

- ① P.25~26に記載した活動実績のみを対象とするが、それ以外にも本学が適当と認めた場合は、評価の対象とすることがある。
- ② 同一種目は、1つしか申請できない(複数申請した場合は、最も格付の高いものを採用する)。
- ③ 同一種目であるか否かは、本学が判断する。

活動実績に関する問い合わせ

活動実績について不明な点がある場合は、2024年度入学試験要項(7月上旬配布予定)に添付されている「活動実績質問用紙」に記入し、郵送またはFAXにて2023年8月24日(木)必着でお送りください。電話による問い合わせは受け付けません。

ア スポーツ・体育系部門

■ 対象となる種目

陸上競技、体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、ハンドボール、サッカー、ラグビーフットボール、パドミントン、ソフトボール、レスリング、柔道、剣道、弓道、空手道、なぎなた、ボクシング、ウエイトリフティング、アーチェリー、野球、ゴルフ、スキー、スケート、自転車競技、ヨット、フェンシング、カヌー、登山、ホッケー、相撲、ボート、少林寺拳法、チアリーディング

■ 対象となる競技会

- ・ オリンピック
- ・ 国際大会（全国大会を経て日本代表として出場したもの）
- ・ 国民体育大会（全国高等学校体育連盟が対象とする種目に限る）
- ・ 全国高等学校体育連盟が主催する大会
- ・ 日本高等学校野球連盟が主催する大会
- ・ 日本高等学校ゴルフ連盟が主催する大会
- ・ 各ブロック高等学校体育連盟が主催、共催する大会
- ・ 日本チアリーディング協会が主催する大会

■ 成績の評価基準

成 績		格 付
国際大会	出場（日本代表として）	A
全国大会	入賞（1～8位）	
全国大会	9位以下	B
ブロック大会	出場	C

注1) ブロック大会とは、各都道府県大会より上位の大会で、全国大会ではないが複数の都道府県にまたがっておこなわれる大会を指す。

注2) 団体種目と個人種目は同等に扱う。

注3) 団体種目・競技の場合は、申請した各競技会の正規登録選手であることを条件とする。

注4) チアリーディングはDivision1（自由演技）を対象とする。全国大会はJapan Cup（日本選手権大会）のみ、ブロック大会（各地方大会）は6位までを対象とする。

イ 文化・芸能系部門

■ 対象となる種目

合唱、吹奏楽、マーチングバンド、バトントワーリング、ダンス、放送、演劇、文芸、ディベート、スピーチ・弁論

■ 対象となる競技会・コンクール

- ・ 全日本合唱コンクール（全日本合唱連盟）
- ・ NHK全国学校音楽コンクール（NHK）
- ・ 全日本吹奏楽コンクール（全日本吹奏楽連盟）
- ・ 全日本アンサンブルコンテスト（全日本吹奏楽連盟）
- ・ 全日本マーチングコンテスト（全日本吹奏楽連盟）
- ・ マーチングバンド全国大会（日本マーチングバンド協会）
- ・ 全日本バトントワーリング選手権大会（日本バトン協会）
- ・ バトントワーリング全国大会（日本バトン協会）
- ・ 全日本高校・大学ダンスフェスティバル（日本女子体育連盟・神戸市・神戸市教育委員会）
- ・ 日本高校ダンス部選手権 夏の公式全国大会（ストリートダンス協会）
- ・ NHK杯全国高校放送コンテスト（全国放送教育研究会連盟）
- ・ 全国高等学校演劇大会（全国高等学校演劇協議会）
- ・ 全国高等学校文芸コンクール（全国高等学校文化連盟）
- ・ 著名な文学賞
- ・ 全国高校生英語ディベート大会（全国高校英語ディベート連盟）
- ・ 全国高等学校英語スピーチコンテスト（全国英語教育研究団体連合会）
- ・ ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会（ECC外語学院他）

■ 成績の評価基準

成 績		格 付
全国大会	個人1位	A
全国大会	個人2位～8位、団体1位、団体金賞	B
全国大会	個人出場、団体出場	C

注1) 団体種目・競技の場合は、申請した各競技会の正規登録メンバーであることを条件とする。

注2) ダンスの全日本高校・大学ダンスフェスティバルは、文部科学大臣賞、三賞（NHK賞、日本女子体育連盟会長賞、神戸市長賞）及び特別賞を対象とし、文部科学大臣賞は団体1位、三賞と特別賞は団体出場とみなす。

※著名な文学賞受賞の場合は格付を検討する。

ウ 資格・検定部門

■ 対象となる種目

コンピュータ活用、簿記、珠算・電卓、商業経済、英語、外国語

■ 対象となる資格・検定および成績の評価基準

種目	資格・検定名		主催団体名	格付		
				A	B	C
コンピュータ活用	情報処理技術者試験	応用情報技術者試験	情報処理推進機構 (IPA)	取得	—	—
		基本情報技術者試験		取得	—	—
		情報セキュリティマネジメント試験		—	取得	—
		ITパスポート試験		—	取得	—
	情報処理検定試験(部門問わず)	全国商業高等学校協会	—	—	1級	
	ビジネス文書実務検定試験 ※「速度部門」のみの合格は対象外		—	—	1級	
情報技術検定(種目合格は不可)	全国工業高等学校長協会		—	—	1級	
計算技術検定(種目合格は不可)		—	—	1級		
パソコン利用技術検定		—	—	1級		
簿記	日商簿記検定(方式問わず)		日本商工会議所	1級	2級	—
	簿記実務検定試験(科目合格は不可)		全国商業高等学校協会	—	—	1級
珠算・電卓	珠算能力検定		日本商工会議所	—	1級	—
	珠算・電卓実務検定試験(部門合格は不可)		全国商業高等学校協会	—	—	1級
	ビジネス計算実務検定試験(部門合格は不可)			—	—	1級
商業経済	商業経済検定試験		全国商業高等学校協会	—	—	1級
英語	実用英語技能検定(方式問わず)		日本英語検定協会	1級・準1級	2級	準2級
	IELTS™(アカデミック・モジュール) (方式問わず)			5.5以上	4.5~5.0	4.0
	英語検定試験		全国商業高等学校協会	—	—	1級
	リスニング英語検定		全国工業高等学校長協会	—	1級	2級
	TOEIC® Listening & Reading Test ※IPテストは不可		国際ビジネスコミュニケーション協会	550点以上	490点~545点	350点~485点
	TOEIC® Bridge Listening & Reading Test			86点以上	80点~85点	64点~79点
	TOEFL iBT®		ETS (Educational Testing Service)	61点以上	48点~60点	42点~47点
	ケンブリッジ英語検定		ケンブリッジ大学英語検定機構	B2 First/ B2 First for Schools	—	B1 Preliminary/ B1 Preliminary for Schools
	国連英検		日本国際連合協会	B級	—	C級
	GTEC (CBTタイプ、検定版) ※オフィシャルスコアに限る		ベネッセコーポレーション	1110点以上	970点~1109点	800点~969点
外国語	中国語検定試験		日本中国語検定協会	1級	準1級・2級	—
	HSK (漢語水平考試)		中国政府教育部	6級・5級	4級	—
	「ハングル」能力検定試験		ハングル能力検定協会	1級	2級	準2級
	韓国語能力試験		韓国教育財団	6級・5級	4級・3級	2級

英語と外国語の検定試験については、母語の試験結果は対象外とする。

エ 社会的活動等の部門

■ 対象となる種目

社会的奉仕活動、生徒会活動

■ 成績の評価基準

(1) 社会的奉仕活動

次の①~③のすべての条件を満たしていることとし、活動内容に応じて本学が格付する(格付C)。

① 個人が主体的に活動していること、または、社会奉仕を目的とした団体に個人で参加していること(教育の一環として高等学校がおこなっている授業、課外活動、クラブ活動、ボーイスカウトなどは対象外)。

② 定期的(月1回程度)に活動しており、かつ活動期間が1年以上継続していること。ただし、海外での活動は社会的奉仕活動に実際に携わった日数が10日以上であること。

③ 活動内容に関する第三者または対象者による認定があること。

※社会的奉仕活動の格付は、できるだけ事前に確認してください(P.24の「活動実績に関する問い合わせ」参照)。

(2) 生徒会活動

生徒会会長のみを対象とする(格付C)。生徒会会長以外は評価の対象としない。